

# **カナダ西部水素・CCS ミッション (2026 年 9 月)**

【開催地：カナダ ブリティッシュコロンビア州（バンクーバー）  
アルバータ州（エドモントン）】

## **募集要項**

申し込み締切：2026 年 7 月 31 日（金）トロント時間  
23：59

## 1. ミッション企画趣旨

ジェトロは、2026 年 9 月、環境分野のプロジェクトの現地視察や現地の主要企業を訪問する「カナダ西部水素・CCS 環境ミッション」を企画しています。トップクラスの CCS 拠点であるアルバータ州エドモントンで開催される、北米最大級の CCS 専門カンファレンス「[Carbon Capture Canada \(CCC\)](#)」（開催場所：カナダ・エドモントン、日程：2026 年 9 月 15 日～17 日）の開催に併せ、ブリティッシュコロンビア（BC）州、アルバータ州でのミッション実施を予定しています。

カナダ政府は、2050 年までの温室効果ガス排出実質ゼロ（ネットゼロ）達成を国家目標として掲げており、電化が困難な産業分野の脱炭素化を進める上で、CCUS（炭素回収・有効利用・貯留）を不可欠な技術の一つと位置付けています。中でも、BC 州及びアルバータ州は、環境・脱炭素分野において特に積極的な地域です。BC 州では、クリーン電力を基盤とした産業の低炭素化や、水素・CCS を組み合わせた排出削減が推進されています。アルバータ州では、豊富な地下貯留ポテンシャルと既存のエネルギーインフラを背景に、大規模 CCS やブルー水素製造を含む産業クラスター型の脱炭素化が進められています。

参加者は、水素や再エネ、CCS 等の様々なエネルギーによる更なる脱炭素施策を進める BC 州に立ち寄ります。現地では、先進性の高い脱炭素事業を行うクリーンテック企業や大学・研究機関の訪問、現地企業及び政府・自治体関係者の交流会を行う予定です。

その後エドモントンに移動し、CCC カンファレンスに参加する CCS 分野のカナダ主要企業、政府関係者・自治体との交流会、CCC 内の企業展示エリアの視察、日系企業向けの視察ツアーを行います。視察ツアーでは、CCS や水素関連のプロジェクト、現地関連企業の訪問を行います。

現地関係者とのネットワーク構築に向けて、ぜひこの機会を活用ください。

## 2. ミッション日程（案）

2026 年 9 月 14 日（月曜）～9 月 17 日（木曜）現地集合現地解散

申し込み締め切り後に参加企業の状況などに応じて決定します。現時点での想定としてご確認ください。

（視察先等の変更となる可能性がありますのでご了承ください。）

① 9月14日(月) バンクーバー市内・近郊

【午前】

1) バンクーバー港 :

カナダ最大の港で、アジアとの輸出入における重要な物流拠点。水素やアンモニア等の低炭素燃料の供給インフラ整備や船舶利用実証を進めている。港湾のオペレーションセンターなどを見学。

2) ブリーフィング・ネットワーキング :

✧ BC州の環境戦略や活動内容を以下団体から説明

バンクーバー港、BC州政府、Innovate BC、UBC-Merida Labs(予定)

✧ BC州内主要企業、政府関係者・自治体との交流会

【午後】

バンクーバー市内・近郊現地企業訪問

1) サイモンフレーザー(SFU)大学 :

水素技術の研究拠点「Clean Hydrogen Hub」を設け、水素エンジン・混焼やパイプライン水素注入の研究、産業利用可能な水素供給の実証を進める当地の州立大学。

2) Ekona Power :

LNG(液化天然ガス)を用いた熱分解(パイロリシス)技術により、低コストかつ低CO<sub>2</sub>排出で水素とカーボンブラックを生産メタンから低炭素・低コストのクリーン水素製造技術を開発するクリーンテック企業。

② 9月15日(火) バンクーバー⇒エドモントン

【午前】

Powertech Labs :

送電線システム・水素インフラに関するインフレ向けの試験、認証、エンジニアリングサービスを提供する、BC Hydro(州営の最大手電力会社)傘下のエネルギー技術研究機関。

【昼】バンクーバー空港移動⇒エドモントンへ

フライト例) AC240 13:00-15:35、 WS304 13:15-15:50

※ 詳細は後日ご案内

**【夕方】**

**1) エドモントン空港視察、関係者とのレセプション**

空港運営車両や周辺産業向けに水素製造・供給の拠点化を進めている北米有数の「水素対応空港」。水素利用促進施設、Intl Cargo Hub 開発エリアなどの視察を予定。

**2) アルバータ州の水素戦略や環境分野のブリーフィング・ネットワーキング**

Alberta 州政府、Hydrogen Hub 等を予定

**③ 9月16日（水） エドモントン市内**

**【午前】**

**CCC 会場内 Trade Show 視察**

展示会出展者とのネットワーキング

※入場チケットは各社にご登録・ご購入いただきます。

※Visitor Pass は 2026 年 8 月 15 日までに[登録](#)すれば無料で入場可能

**【午後】 <希望者のみ：ミニ視察ツアー（2～3 時間）>**

**1) Dark Matter Materials :**

CO<sub>2</sub>やバイオマスを活用したカーボン材料の開発を進める、CCS 分野に関連する先端材料企業

**2) Azolla 水素充填ステーション :**

オンサイトでの水素製造・圧縮・貯蔵・供給機器を統合し、水素の地産地消を可能にする可動式水素インフラ。

**【夕方】**

**CCS 分野のカナダ主要企業、政府関係者・自治体との交流会**

**④ 9月17日（木） エドモントン市内・近郊視察（終日）**

**1) Alberta's Industrial Heartland Region**

エドモントン郊外の石油・化学工業地帯。既存インフラを生かし、国内外の企業が技術の普及に向け水素製造・CCS の実証実験を同地で実施している。

Alberta Industrial Heartland Association の案内・解説付きで、車窓から主要な施設を見学。

◇ **Dow Path2Xero/Linde 水素プラント：**

クリーン水素供給と CCS を組み合わせ、化学品をネットゼロ排出で製造するプロジェクト

◇ **Shell Quest：**

水素製造によって発生する CO<sub>2</sub>を対象とした、大規模 CCS の実証・商用化プロジェクト拠点

◇ **Nutrien：**

肥料大手の同地の拠点では、一般的な肥料（アンモニア等）製造工場比で 65%の CO<sub>2</sub>排出量の低減を実現

＜訪問先＞ 以下はバスを降りて見学

① **Alberta Carbon Trunk Line：**

水素製造や製油などから排出される CO<sub>2</sub>を回収・輸送し、地下貯留や EOR（原油増進回収）に活用する世界最大級全長 240km の CCUS 専用パイプライン。

② **Sturgeon Refinery：**

Alberta Carbon Trunk Line に直結した、世界初の CCS 対応を前提とした石油精製施設。ビチューメン（重質原油）の高付加価値燃料に転換時に発生する CO<sub>2</sub>を回収し、同パイプラインを通じて輸送・貯留する。

2) **InnoTech Alberta**

アルバータ州政府系の応用研究機関であり、エネルギー・環境・デジタル分野において、企業に対し技術開発・実証の支援を提供し、技術の商業化リスク低減を目的とする組織。

3) **C-FER Technologies**

同じく州政府系組織として、技術導入・普及にあたっての部品、システムレベルでのエネルギーインフラの安全性評価・検証サービスを、日本企業を含む国際的な顧客に対して提供。従来の石油化学産業での実績から、パイプラインや材料・構造分野に強みを持ち、水素・CO<sub>2</sub>輸送といった発展途上の分野へも対応中。

※いずれも予定のため、視察先等は変更となる可能性があります。

## <参考> 集合・解散について

### 【集合 (IN)】

日時：2026 年 9 月 14 日（月）午前 8 時頃（予定）

場所：バンクーバー港（現地集合）

※詳細は確定後にご連絡いたします。

※プログラムは朝からの開始予定のため、前日（9 月 13 日）の現地到着を推奨します。

### 【解散 (OUT)】

日時：2026 年 9 月 17 日（木）18 時頃（予定）

解散場所：Edmonton Downtown（予定）

※当日の進行や交通状況により前後する可能性があります。

## 3. 応募要件

- a. 水素・CCS 分野でのビジネス展開を検討している日本企業（在外日系企業、日本の大中小企業）。
- b. 英語での対応が可能で、海外ビジネスを継続して行うための組織体制が整備されていること。
- c. 原則として、プログラムの全日程に参加できること。
- d. ミッション中に、英語にてカナダにおける投資または事業展開の可能性を踏まえた自社の関連事業について紹介ができること。
- e. ミッション終了後にジェトロが実施する事業成果把握のためのアンケート、および成果普及への協力が可能であること。

## 4. 募集概要

定員：20 社 40 名程度（最少催行人数：10 名）

締切（トロント時間）：2026 年 7 月 31 日（金）23 時 59 分

（日本時間：2026 年 8 月 1 日（土）12 時 59 分）

※ 原則として 1 社 2 名程度とさせていただきますが、それ以上になる場合はご相談ください。

なお、申し込み人数が多数となる場合は、1 社 1 名に限定させていただく可能性がございます。

※ 応募多数の場合は、本事業の目的・内容等を踏まえ、カナダにおける投資や事業展開を検討されている（将来的な可能性を含む）企業を中心に、参加企業を選定させていただく場合がございます。

※ 募集状況に応じて、締切日前に受付を終了する場合がございます。

※ 参加確定者には、締切後 1 週間程度をめぐに、ジェトロ・トロント事務所より参加確認のご連絡を差し上げる予定です。

使用言語：英語

主催：ジェトロ・トロント事務所

申し込み方法：以下 URL よりお申し込みください。

<https://www.jetro.go.jp/customer/act?actId=B0094106W>

## 5. 参加費用

無料

※ 日本あるいは出発地から現地までの往復移動手段（航空券等 バンクーバーからエドモントンへの航空券を含む）、飲食代、宿泊代は参加者ご自身で手配・お支払いいただきます。

＜主催者・協力機関が手配・負担する費用＞

- 日程内の一部公式レセプション参加費
- ジェトロが指定する集合場所から訪問先へ移動するためのバス等

＜参加者ご自身で手配、費用負担いただくもの＞

- 航空券手配とその費用（バンクーバーからエドモントンへの航空券を含む）
- 査証手配を要する場合はその手配と費用
- 宿泊先ホテル手配とその費用（ジェトロが後日推奨ホテルをご案内しますが、各自でご手配・支払いいただきます）
- CCC 入場パス（CCC の Visitor Pass に 2026 年 8 月 15 日までに登録すれば無料取得可能）  
ご登録は[こちら](#)。
- プログラム外での現地での移動手配とその費用（空港と宿泊先ホテル間、及び宿泊先ホテルと各日の集合・解散場所間の移動費も含みます）
- 海外旅行保険手配とその費用
- 飲食代
- その他、上記ジェトロ負担分に定める以外の一切の費用（日本国内移動費や通信費などを含みますが、これらに限りません。）

## 6. 注意事項

1. ジェトロからご参加確認および催行決定の通知を受領後、航空券等の手配を開始いただくよう

お願いします。

2. 視察先での使用言語は、英語です。通訳の手配は現状想定していません。予めご了承ください。
3. 視察当日の集合場所は、9/14,15 はバンクーバー市内、16,17 日はエドモントン市内を予定しています。確定次第、ミッション参加者にご案内いたします。
4. プログラム内容は現時点での予定であり、変更となる可能性がございます。タイムスケジュール詳細は、確定次第、ミッション参加者に連絡させていただきます。
5. 本ミッションの一部の行程のみ参加希望も受付けますが、申込数が定員を上回る場合、全行程へのご参加可能な方を優先させていただく旨、ご了承ください。なお、視察先において、参加者が個別に行動されることは原則認められません。主催者の引率の指示に従って行動をお願いします。
6. 申し込みフォーム記載の「参加者ご氏名」「貴社名」「ご所属部署名・役職」「事業概要」は、ミッション催行時に他の参加者および訪問・交流先に対し、共有させていただく旨、予めご了承ください。
7. ミッション期間中、メディアの取材が入る可能性がございます。
8. ミッション期間中に発生した携行品の盗難、損害、疾病などについて、ジェトロは一切の責任を負いかねます。
9. 訪問先企業の意向により同業他社様の視察先訪問をお断りする場合がありますので、予めご承知ください。また訪問先企業より、事前に NDA または同等の書類へのサインを求められる場合もあることをご了承ください。
10. 本事業の成果把握などのためにジェトロが実施するアンケートのご提出に必ずご協力ください。
11. 外国為替及び外国貿易法等の関連法令の遵守については、参加者ご自身の責任においてご対応ください。また、「[輸出管理等の外為法関連規制に関する特記事項](#)」への同意を、本ミッションへの参加条件とさせていただきます。

#### <免責事項>

1. 本ミッションが中止または延期となった場合、申込者の責によらない事由により参加できなくなった場合でも、ジェトロは一切の経費・損害（予約されたホテル、航空券代等のキャンセル料を含む）を補填できません。予めご了承ください。
2. 参加中に体調不良となった場合、ジェトロは可能な範囲でサポートさせていただきますが、現地での治療などに伴う費用や損失、およびその他不測の事態に伴い発生する費用・損失などに

関しては、一切補償できません。

3. 旅行中に発生する如何なる事故についても、ジェトロは責任を負いかねます。各自で海外旅行保険に加入されることをお勧めします。また、持病がある場合は英文診断書、常用薬がある場合はそちらもご持参ください。